

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	基本技術論Ⅱ（対象把握の技術）		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30（1）時間(単位)
対 象 学 年	1年次		学期及び曜時限	前期	教室名	各教室・看護実習室
担 当 教 員	鎌田麻美	実務経験と その関連資格	総合病院で内科・外科系の病棟で看護師として勤務			
《授業科目における学習内容》						
看護の対象者の健康状態を把握するために必要なヘルスアセスメントについて学ぶ。フィジカルアセスメント、全身の系統的なフィジカルイグザミネーション、心理社会的側面のアセスメント、バイタルサイン測定の方法を習得する。						
《成績評価の方法と基準》						
授業・演習の出席状況（5％）、授業態度（5％）、課題提出内容（5％）、定期試験（85％）で評価する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
基礎看護学② 基礎看護施術Ⅰ 医学書院 フィジカルアセスメントがみえる メディックメディア						
《授業外における学習方法》						
講義の中で授業にかかわる小テストを実施するので予習・復習をしておく						
《履修に当たっての留意点》						
教科書・参考図書を用いて予習・復習を行い、自ら学ぶ姿勢をもち、授業に参加する。演習においては課題（ワークシート）をまとめた上で参加する。演習グループ内で協力して学びを深めていく。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 1 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	ヘルスアセスメントとフィジカルアセスメントについて学び、その概要を理解し述べることができる		教科書・参考図 書AV機器	授業で行う部分の教科書・ 参考図書を読んでおく
		各コマに おける 授業予定	ヘルスアセスメントとフィジカルアセスメント、情報収集と倫理的配慮			
第 2 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	フィジカルアセスメントに必要な技術の内容と留意点を述べることができる		教科書・参考図 書AV機器	授業で行う部分の教科書・ 参考図書を読んでおく
		各コマに おける 授業予定	フィジカルアセスメントと全身状態の把握			
第 3 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	バイタルサインの概要とアセスメントの必要性、体温測定の方法と留意点を述べることができる		教科書・参考図 書AV機器	授業で行う部分の教科書・ 参考図書を読んでおく
		各コマに おける 授業予定	バイタルサインの概要と体温測定			
第 4 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	脈拍・呼吸に関する基礎知識と測定の方法と留意点を述べることができる		教科書・参考図 書AV機器	授業で行う部分の教科書・ 参考図書を読んでおく
		各コマに おける 授業予定	脈拍・呼吸に関する基礎的知識・測定方法			
第 5 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	血圧に関する基礎知識と測定の方法と留意点を述べることができる		教科書・参考図 書AV機器	授業で行う部分の教科書・ 参考図書を読んでおく
		各コマに おける 授業予定	血圧に関する基礎的知識・測定方法			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	体温測定・脈拍測定・呼吸数測定・血圧測定の基本動作ができ、不足している部分は追加修正することができる	教科書・参考図書	各項目について方法・留意点をワークシートにまとめ演習に取り組む
		各コマにおける授業予定	バイタルサイン測定(演習)		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	体温測定・脈拍測定・呼吸数測定・血圧測定の基本動作ができ、不足している部分は追加修正しワークシートをまとめることができる	教科書・参考図書	各項目について方法・留意点をワークシートにまとめ演習に取り組む
		各コマにおける授業予定	バイタルサイン測定(演習)		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	呼吸器系のアセスメントの内容を理解し述べることができる	教科書・参考図書 AV機器	授業で行う部分の教科書・参考図書を読んでおく
		各コマにおける授業予定	呼吸器系のアセスメント(呼吸音)		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	循環器系のアセスメントの内容を理解し述べることができる	教科書・参考図書 AV機器	授業で行う部分の教科書・参考図書を読んでおく
		各コマにおける授業予定	循環器系のアセスメント(心音)		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	消化器系のアセスメントの内容を理解し述べることができる	教科書・参考図書 AV機器	授業で行う部分の教科書・参考図書を読んでおく
		各コマにおける授業予定	消化器系のアセスメント(腹部聴診など)		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	頭・頸部、脳・神経系のアセスメントの内容を理解し述べることができる	教科書・参考図書 AV機器	授業で行う部分の教科書・参考図書を読んでおく
		各コマにおける授業予定	頭・頸部、脳・神経系のアセスメント		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	筋・骨格系のアセスメントの内容を理解し述べることができる	教科書・参考図書 AV機器	授業で行う部分の教科書・参考図書を読んでおく
		各コマにおける授業予定	筋・骨格系のアセスメントについて(ROM・MMT)		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	各項目の聴診法について理解し、正常・異常の区別をすることができる	教科書・参考図書	各項目について方法・留意点をワークシートにまとめ演習に取り組む
		各コマにおける授業予定	呼吸音・心音の聴取、腹部聴診(演習)		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	心理・社会状態もふまえたアセスメントの必要性について述べるができる	教科書・参考図書 AV機器	授業で行う部分の教科書・参考図書を読んでおく
		各コマにおける授業予定	心理・社会状態のアセスメント		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	フィジカルアセスメントの概要とバイタルサイン測定について説明することができる	教科書・参考図書 AV機器	今までの配布資料をまとめ、読み込んでおく
		各コマにおける授業予定	フィジカルアセスメントのまとめ		